

各位

2014年5月9日

KNT－CTホールディングス株式会社
総務広報部（広報）担当：森川
TEL：03－6891－6839

旅行取扱状況の概観（平成26年3月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト(KNT)とKNT個人旅行、KNT個人旅行販売、クラブツーリズム、KNT北海道、KNT東北、KNT中国四国、KNT九州、ユナイテッドツアーズ、KNT商事の合算額となります。

記

海外旅行の取扱いは、一般団体は前年比89.6%と前年を下回ったものの、学生団体は同112.8%と大きく上回り、団体旅行合計で同100.1%と前年を上回った。企画旅行については前年比105.0%と前年を上回り、個人旅行については同105.5%と前年を上回った。

この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比103.9%と前年を上回った。

国内旅行の取扱いは、一般団体は前年比103.4%、学生団体は同118.3%と好調に推移し、団体旅行合計では同108.5%と前年を上回った。企画旅行については同109.1%と前年を上回り、個人旅行については同117.9%と前年を大きく上回った。

この結果、国内旅行総取扱額としては、110.5%と大きく前年を上回った。

外国人旅行は、昨年取り扱った複数のチャーター事業の反動もあり、前年比85.9%と前年を下回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の3月の総取扱額は前年比107.5%となり前年を上回った。

【主要会社の状況】

1. 近畿日本ツーリスト株式会社

海外団体については、一般団体は昨年取り扱った大型コンベンションやSITツアーの反動もあり前年比91.8%となったが、学生団体は修学旅行の取扱いが好調であり同112.7%であった。この結果、海外団体旅行合計で同101.4%と前年を上回った。

国内団体については、一般団体は前年比103.4%、学生団体は同118.3%と前年を大きく上回った結果、国内団体旅行合計で前年比108.6%と前年を上回った。

2. 近畿日本ツーリスト個人旅行株式会社

メイトは、取扱額で前年比104.8%と前年を上回った。方面別取扱人数の状況では、中国四国・九州方面が好調を維持しているのに加え、東北・首都圏・関西方面が好調であった一方で、北海道・沖縄方面が伸び悩んだ。

ホリデイは、引き続き東アジア方面を中心として全般的に不調である。各方面とも低価格帯商品のラインナップを縮小させた影響もあり、全体の取扱人数、取扱額とも前年を下回った。

3. クラブツーリズム株式会社

海外旅行部門は、カンボジア等のチャーター商品と飛鳥IIのチャータークルーズが好調で、前年比132.6%と大きく前年を上回った。

バス旅行を除く国内旅行部門は、北海道や九州等の遠距離仕向地の販売が好調で同110.6%と前年を大きく上回った。バス旅行部門は桜の開花予想にあわせた日帰りツアーなどがけん引し、同118.7%と前年を大きく上回った。

テーマ旅行部門は、チャーター販売や巡礼・歴史の旅がけん引し、同112.3%と前年を大きく上回った。

以上